

<b>授業科目名</b>	助産診断・技術学演習 (2300311)		
<b>時間割名</b>	助産診断・技術学演習 (21209)		
<b>時間割担当</b>	美甘祥子 高田勝子		
<b>実施期</b>	前期	<b>単位数</b>	2 選択
<b>曜日・時限</b>	火・1~2		

### 授業の目標・概要

妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期各期の事例を用いて、エビデンスに基づいた助産診断展開能力を養う。事例展開内容はグループ討議や発表会を行い、問題解決方法のさらなる追究を行う。さらに、各期に必要な助産診断技術および正常分娩介助の演習を行う。分娩介助技術においては新生児蘇生技術を含み、母子ともに安全で満足感の持てる分娩を支援することをめざす。そのために、分娩介助技術については実技試験を行い、「助産診断・技術学実習」を履修する条件とする。

### 学習の到達目標

1. 妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期の模擬事例を用いて、助産診断と助産計画の立案ができる。
  2. シミュレーターを用いて実際の流れに沿った妊産褥婦のフィジカルアセスメント技術を展開することができる。
  3. シミュレーターを用いて実際の流れに沿った新生児のフィジカルアセスメント技術を展開することができる。
- シミュレーターを用いて正常産の分娩介助を行うことができる。
4. 模擬事例とシミュレーターを用いて新生児蘇生法を行うことができる。

### 授業方法・形式

演習、グループワーク

### 授業計画

- 第1回 分娩介助法1 物品・環境の準備、助産師の準備、産婦の準備、内診法
- 第2回 分娩介助法2 会陰保護法、児頭娩出、躯幹娩出、呼吸法
- 第3回 分娩介助法3 胎盤娩出法、分娩直後の診察、胎盤計測
- 第4回 分娩介助法4 産婦の準備から胎盤娩出までの総合演習
- 第5回 産婦のフィジカルアセスメント技術 陣痛測定、分娩監視装置、CTGの判読
- 第6回 分娩期の模擬事例による総合演習1
- 第7回 分娩期の模擬事例による総合演習2
- 第8回 母乳育児支援1
- 第9回 母乳育児支援2
- 第10回 妊婦のフィジカルアセスメント技術 妊婦健康診査、頤部触診法、ザイツ法
- 第11回 新生児のフィジカルアセスメント技術 身体計測、成熟度の判定
- 第12回 新生児蘇生法 新生児蘇生のプロトコール、蘇生のための技術
- 第13回 妊娠期の模擬事例による総合演習
- 第14回 産褥期・新生児期の模擬事例による総合演習
- 第15回 まとめ

### 成績評価の基準

実技試験60%、総合演習の課題達成度40%

### 準備学習・復習及び授業時間外の課題

各技術の自己練習や授業時に提示された課題への取り組み。

### 履修上のアドバイス及び留意点

各診断・技術学で学習した内容を統合し、助産学実習に向けた準備を行う科目です。安全に助産学実習が行えるよう、各自で繰り返し練習し、技術の習得に努めてください。

### 教材・教科書

藤森敬也、胎児心拍数モニタリング講座 大事なサインを見逃さない!、メディカ出版  
細野茂春監、日本版救急蘇生ガイドライン2015に基づく新生児蘇生法テキスト、メジカルビュー社

### 参考書

石村由利子編、根拠と事故防止からみた 母性看護技術、医学書院  
そのほか、適宜紹介する。